

普及情報

＜おうみ・森っこスクール＞

今回は、18号に引き続き、「おうみ森っこスクール」の実施状況（下半期）についてご紹介します。

滋賀県では、「次代の森林を支える人づくりの推進」を図っています。これは、森林のもつ多面的な機能発揮する上で、重要な要素と位置づけているため、県民の皆様にも、多面的機能についての理解と関心を深めてもらい、森林づくりへの参加意識を高めてもらうことを目指しています。琵琶湖森林づくり基本計画によれば、その中でも「森林環境学習の推進」は、「森林体験を含めた、森林環境学習の取り組みを学校や地域の実態に応じて、推進する」とされています。各小中学校へ出向き、地域の実情や地域の資源を活かしながら、学校の先生方と打ち合わせを行い実施する、まさに「オン・デマンド」で行う事業が、「おうみ・森っこスクール」です。

昨年12月末までには、県内各地の小・中学校約20校に赴き、回数にして44回、2千人近い児童・生徒を対象に、さまざまな学年に対して、間伐体験や木工クラフト、森の働きを発見するアクティビティなど、さまざまなメニューで、おうみ森っこスクールを実施しました。（※簡単な内容については次のページを参照してください。）数え切れないほどの好奇心旺盛な目や期待感あふれる歓声に出会いました。今年度もあとわずかですが、引き続き3学期もいくつかの学校で実施されます。また、夏休みの期間中には、森林センターにおいて、湖南市の小学校・幼稚園の先生方を対象に「指導者セミナー」を実施しました。（西村）





平成18年度 森っこスクール実績表

No.	月日	学校名	対象	内 容
1	H18.4.25	鳥居本中学校	1・2年生	森林と環境(事前学習)
2	H18.4.26	鳥居本中学校	1・2年生	植栽体験(中1)、間伐体験(中2)
3	H18.5.16	山上小学校	3年生	飛ぶ種を探そう作ろう～風のクラフト
4	H18.5.17	鳥居本中学校	1・2・3年生	鳥居本ヒューマンゼミ「自然と人間コース」
5	H18.5.26	金勝小学校	4年生	間伐体験・木工クラフト
6	H18.5.30	桜谷小学校	3年生	裏山探検～裏山デビュー、9つの色さがし
7	H18.5.30	笠縫東小学校	6年生	炭焼き体験と炭火バームクーヘンづくり
8	H18.6.7	柏原中学校	1年生	森林のはたらき
9	H18.6.12	古保利小学校	6年生	学校林探検(学校林を知ろう)
10	H18.6.21	西浅井中学校	1年生	樹木学習
11	H18.6.28	塩津小学校	3年生	自然観察
12	H18.6.28	春照小学校	4年生	間伐の話・木材の利用
13	H18.6.29	大宝東小学校	4年生	間伐作業体験・森の話
14	H18.6.30	大宝東小学校	4年生	森の働き・木工クラフト
15	H18.7.4	西浅井中学校	1年生	森林の働き
16	H18.7.5	治田東小学校	5年生	森林の働き
17	H18.7.5	春照小学校	4年生	木材の利用(ベンチ作り)
18	H18.7.7	小谷小学校	6年生	竹林整備
19	H18.7.7	桜谷小学校	3年生	裏山探検～裏山の生きもの、カブトムシの寝床づくり
20	H18.7.10	山上小学校	3年生	タケでマイ箸とマイカップをつくろう～水のクラフト
21	H18.7.10	石部南小学校	5年生	森の働き(間伐事前学習)
22	H18.7.11	石部南小学校	5年生	間伐作業体験
23	H18.7.18	岩根小学校	1年生	森からの恵み(クラフト作り)
24	H18.8.2	下草野小学校	4年生	森からの恵み(木工工作:椅子作り)
25	H18.8.28	鳥居本中学校	3年生	木材利用(プランター作り)
26	H18.9.15	大宝東小学校	4年生	木材利用と地球温暖化防止
27	H18.9.26	石部南小学校	5年生	木材利用(木工工作:ベンチと椅子作り)
28	H18.9.29	鳥居本中学校	2・3年生	鳥居本ヒューマンゼミ「自然と人間コース」
29	H18.10.3	石部南小学校	5年生	木材利用(木工工作:ベンチと椅子作り)
30	H18.10.19	桜谷小学校	3年生	裏山探検～裏山の水源地さがし
31	H18.10.24	油日小学校	4年生	間伐作業体験・学校林の見学・木登り体験
32	H18.10.24	古保利小学校	6年生	間伐作業体験・木材利用(ベンチづくり)
33	H18.10.27	瀬田中学校	1年生	間伐作業体験(木登り体験)
34	H18.11.1	石部南小学校	4～6年生	森林ネイチャーゲーム
35	H18.11.2	草津中学校	1年生	森林環境学習(森の働き)
36	H18.11.6	桜谷小学校	3年生	裏山探検～裏山で見つけた森の宝もの
37	H18.11.7	小谷・速水小学校	5年生	森の働き・森林作業(植樹枝打ち)体験
38	H18.11.9	柏原中学校	5年生	森の働き・森林作業(間伐)体験
39	H18.11.15	山上小学校	3年生	森の素材で表現してみよう～木のクラフト
40	H18.11.21	石部南小学校	4年生	木材利用:鳥の巣箱、給餌台作り
41	H18.11.24	土山小学校	3年生	森の恵み(木工クラフト作り)
42	H18.11.27	土山小学校	3年生	森林作業(間伐)体験(森林の働き)
43	H18.12.7	治田東小学校	4年生	炭焼き体験
44	H18.12.8	山上小学校	3年生	炭やき、バウムクーヘンづくり～火のクラフト

平成18年度 指導者セミナー実績表

No.	月日	地区(学校)名	対象	内 容
1	H18.8.25	湖南省教育委員会	小学校・幼稚園教員	森林の働き、葉っぱのスタンプ、森の料理人

試験研究情報

< 森林土壌の炭素蓄積 >

森林の樹木が成長する過程で二酸化炭素(CO₂)を吸収し、幹や枝等に蓄積していくことは本誌の第12号でお話ししました。この量を把握するため、(独)森林総合研究所をはじめ全国の林業関係試験研究機関が分担して調査してきました。森林センターでも2003年から本年まで、ヒノキ、コナラ、クヌギ、ハンノキの若齢林において、森林のバイオマス量を測定してきました。今回、紹介するのはその続きです。

さて、森林で炭素を蓄積しているのは、木や草だけでしょうか。森林の炭素蓄積に関しては、5つの蓄積プールがあるとされています。①地上部バイオマス(幹、枝、葉)、②地下部バイオマス(根)、③落葉・落枝、④枯死木、⑤土壌の5つです。上述の調査ではこのうち①と②の調査がほとんどで、私たちは①の部分だけを調査しました。地球温暖化に関する国際的な取り決めを守っていくためには、残りの③④⑤の蓄積量も把握する必要がありますが、調査事例が比較的少ないこと等から、本年より5年間、全国調査が展開されることになりました。とくに、森林土壌の炭素蓄積量は植生のそれよりも多いといわれていることから、この部分の蓄積量を知ることは重要であると考えられます。

調査は、一定の方法で定められた20km間隔の格子線の交点において行われますが、全国では約3,000点、滋賀県では22点(うち国有林内2点)の調査地が選定されています。私たちは、国有林内の調査地を除いて毎年4箇所ずつ調査していきます。

調査地は機械的に決められていますから、さまざまな林相および土壌の森林が調査地に選定されます。本年は、奥山の広葉樹林、松くい虫被害跡の広葉樹林、はげ山跡の広葉樹林、水田跡のヒノキ造林地で調査を行いました。図-1には土壌断面を示しましたが、山によって掘れる

(岩盤にあたるまでの)深さも違いますし、有機質(即ち炭素)の多い部分(濃い褐色の部分)の厚さも違います。森林の違いによって土壌に蓄積されている炭素量が異なることがわかります。

詳しい分析と集計は、森林総合研究所を中心に実施されますが、今から4年後には全国の森林における枯死木(間伐木を含む)、落葉・落枝、腐植層、土壌の炭素蓄積がわかり、上記の5つの炭素蓄積プールすべてについて知ることができるようになります。(小島)



a: 松くい虫被害跡の森林土壌(大津市)



b: はげ山跡の森林土壌(大津市)

図1: 森林の土壌断面
(写真中の紅白尺目盛は10cm間隔)

→※一説には、森林の炭素蓄積の40%程度が、森林土壌で賄われているという話もあります。樹木をはじめ、有機物の分解速度はゆっくりと、そして確実に行われている実態がわかるとなると、わくわくします。「森林」というと、植物体だけのイメージがありますが、「土壌」やそこに棲む「生きもの」、森林内の「微気候」も「森林」であることを改めて感じます。近々においては、林内に放置木（間伐木）があると、たちまち、温暖化の元凶のように扱われ、わざわざ化石燃料を排出して、林外に運び出して利用することが叫ばれています。そのような人たちにはどうやら、伐採木の切り口からプカプカと二酸化炭素(CO₂)が放出されるイメージがあるようですが、この実態解明をもとに、ちゃんとCO₂収支を考慮した、利用の形態が検討されることを願ってやみません。(西村)

研修会のお知らせ



@森林センター研修(第3回)

日時：2月15日(木) 9:00~16:00

場所：鳩の森公園(守山市)

内容：庭園マツの新樹幹注入(現地研修)

庭園樹のマツにとっても、マツノザイセンチュウ病は脅威であり、ひとたび感染すれば、そこが新たな発生起点になる恐れをはらんでいます。今回は、庭園マツならではの、マツノザイセンチュウ病予防のための新しい樹幹注入法を、現地研修を交えて紹介します。

@森林センター業務報告会

日時：2月27日(火) 9:30~12:00

場所：森林センター大会議室

@森林センター研修(第4回)

日時：2月27日(火) 13:00~15:00

場所：森林センター大会議室

内容：「木を診る・木を知る」~木の都合も考えよう

講師：樹木医 鹿田 良男さん



編集・発行 滋賀県森林センター

〒520-2321 滋賀県野洲市北桜978-95

TEL 077-587-2655 FAX 077-587-6527

ホームページ <http://www.pref.shiga.jp/d/shinrin-c/>

Eメール dj36@pref.shiga.lg.jp (担当：西村) 2007年1月発行